

# 自動運転等デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験について

## 【主な検討事項】

- ・現在の技術において、駅周辺の狭隘な道路において自動運転可能かどうか。
- ・将来的に公共交通網を引いていくとすれば、様々なシチュエーションが予想され、自転車や歩行者がひしめく道で安全の面から実施可能かどうか。
- ・将来的に青垣生涯学習センター付近にサッカー場が建設されれば、駅からセンター(スタジアム)への輸送需要が多く見込まれることを見据え、どのようなルート、どのような車両で自動運転の実証実験を行うことが望ましいか。

## 実証実験走行ルート(案)の概要



- 走行ルート
  - 区間1：田原本駅～青垣生涯学習センター
    - ・A案：約1.8km ※狭隘な道路を通行
    - ・B案：約3.2km
  - 区間2：青垣生涯学習センター～道の駅Iwanoji唐古・鍵
    - ・A案：約2.6km
    - ・B案：約2.2km ※国道24号メイン
- 信号交差点の通過 (田原本駅⇒道の駅)
  - 区間1 A案：2箇所(右折1)、B案：9箇所(左折2)
  - 区間2 A案：5箇所(左折3、右折1)、B案：6箇所(左折1、右折2)
- 車線数
  - ・区間1-A案以外は、概ね2車線道路(片側1車線)
  - ・区間1-A案に、田原本駅周辺に幅員狭小の対面通行あり(一部、時間帯指定の一方通行区間)
- 歩道・防護柵等
  - ・歩道なし、歩道が狭小の区間あり
  - ・殆どの区間でガードレール等の設置なし
- その他
  - ・区間1-A案に、踏切を通過する箇所あり
  - ・歩道のない区間では歩行者・自転車との錯さうあり